

送外
送外
送外

送外
送外
送外

明治
43. 6. 6
内交

雷	鐵	采	菘	枚	羅	綾	華	切	白
電	稀	女	菜	生	生	鼓	法	蓋	梁
				川	門		海	我	天
雷	鐵	采	菘	枚	羅	綾	華	切	白
當	弱	墨	法	玉	夜	梅	芭	碇	大
摩	法	淡	師	井	鳥	枝	蕉	潛	社



乃云お。白ふそとち。我るりあり。お
 上 解
 解 せ て の カ 方
 の 解 せ て の カ 方
 上 解
 解 せ て の カ 方

七号より未ふ留て玉河ア。こを
 をちりお。玉い名づく。名被ふ
 友ア。ゆお。ち智直を。まき。の宣
 名を。ふア。まき。海路。ふ。解。上。東
 海。波。路。多。ふ。り。く。舟。の。か。く。流。小
 方。り。ち。彩。珠。る。ま。の。ま。り。て。か。て。津
 空。月。又。出。る。る。形。く。よ。ア。山。尺。切

て程もあつく、り本ち地もさふかり

か地ふさふて花、暫海上り舟を浮一

甲方ちりききを暇めちやと存我

上 女乃、此はふち海乃物朗

月乃と残る。跡めり那、松風よ

ア水浦乃秋、葉や舟を、心せつ

らん、^上 水邊、とて、浪

を浸に、越を、^上 岸

大 庵舟、^上 標を、^上 梅の、^上 烟

乃波ち上りや、^上 思ふ、^上 事

阿ら柳ふち、^上 海と、^上 松浦、^上 西

ふ山さき、^上 有ぬ、^上 月、^上 舟

浮らや、^上 沖つ、^上 波、^上 舟

船、^上 起、^上 海を、^上 舟、^上 舟

舟、^上 跡の、^上 標も、^上 素、^上 舟

舟、^上 舟、^上 舟、^上 舟、^上 舟

舟、^上 舟、^上 舟、^上 舟、^上 舟

舟、^上 舟、^上 舟、^上 舟、^上 舟

舟、^上 舟、^上 舟、^上 舟、^上 舟

舟、^上 舟、^上 舟、^上 舟、^上 舟

舟、^上 舟、^上 舟、^上 舟、^上 舟

阿ふよよいり年少も歌を詠て
 んを慰むけ 其も歌を詠い
 小く天竺の異文を看ふ乃詩賦
 一、夜ちかり詩賦を我物乃
 歌とに云云を初らげ来るを
 以て。大ふ和らぐ歌と云てやま
 と歌とよみ也。之めて志ありし
 走格ららんは走也。つ羽らんを走
 沈をん為格也 下得りやいしは
 上 いて目、前カクー、まを詠
 小能てまらサウ 一、く 歌格 下、ま

白紙三

昔衣を扱ひてしちほちて扇ふり
 白紙帯み似て山か糸をぬる。
 白紙帯み似て山か糸をぬる。
 長き昔ちりもほちて扇ふり
 ちるが衣み似るもちや 白紙帯
 み似て。山か糸をぬる。而も白
 衣乃歌也。昔衣を扱ひて、昔衣を
 ちるもほちるもあて、まぬき
 山か帯をほちるも、上り、山か
 衣の力を賤しき漁翁あるが。
 山か糸をほちるも。

名をいけふは道徳トクを 人々に
 是も形き方あり。是も歌
 を讀するは、人々の心を
 くらげ。生きたる物も亦
 によりのぬきあき物をと上りや
 生きたる物も亦。物も亦
 勢も亦上り和歌を誦するは
 例も亦。和歌よあめて 活言
 のは 里にすまむ。水より
 ぬる性なり。人々の心を
 するは、和歌を誦するは、人々
 を誦するは、人々の心を
 するは、和歌を誦するは、人々
 を誦するは、人々の心を
 するは、和歌を誦するは、人々

名をいけふは道徳トクを 人々に
 是も形き方あり。是も歌
 を讀するは、人々の心を
 くらげ。生きたる物も亦
 によりのぬきあき物をと上りや
 生きたる物も亦。物も亦
 勢も亦上り和歌を誦するは
 例も亦。和歌よあめて 活言
 のは 里にすまむ。水より
 ぬる性なり。人々の心を
 するは、和歌を誦するは、人々
 を誦するは、人々の心を
 するは、和歌を誦するは、人々

浦乃波乃。立たりり多。伊執る法水
吉規一多。伊執る法水
りもまを。藤島三。伊執る法水
殿崎乃。伊執る法水
三乃。伊執る法水
を拜多。伊執る法水
乃曲を奏。伊執る法水
を衣乃。伊執る法水
船乃。伊執る法水
神と。伊執る法水
く。伊執る法水

白き糸

切道草我

皇を。切道草我。伊執る法水
お景季。切道草我。伊執る法水
印。切道草我。伊執る法水
り。切道草我。伊執る法水
乃。切道草我。伊執る法水
い。切道草我。伊執る法水
成。切道草我。伊執る法水
な。切道草我。伊執る法水
注。切道草我。伊執る法水

形もどか。被任する。も
 御ら。玉。お。た。
 ま。弟。を。ア。ま。
 免。き。ま。ま。く。使。そ
 と。お。い。兄。弟。を。五。つ。や。り。か
 時。ま。も。母。ら。あ。ち。あ。ち。
 一。子。か。か。く。き。く。く。あ。ひ。り。て。役。
 初。ま。し。い。あ。ら。ま。や。た。と。九。つ。
 年。ら。より。も。弟。は。年。も。兄
 え。あ。ま。折。を。ひ。り。て。兄。へ
 も。ま。い。は。お。人。か。あ。あ。あ。ま。ま。ま。

一。父。か。あ。あ。を。も。つ。を。ま。や。と
 あ。そ。あ。あ。を。あ。あ。い。に。た。に
 くる。作。を。あ。あ。い。ま。思
 い。も。あ。あ。と。あ。あ。を。あ。あ
 う。あ。あ。の。あ。母。を。餘。りの。あ。あ
 只。に。あ。あ。の。あ。あ。あ。あ。あ。あ
 生。と。あ。あ。の。あ。あ。あ。あ。
 お。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 那。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 後。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 今。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。

よき^上にやありて何事をも
とらぬに。誰か
しめて恨みなく親子の契り
あはれなるに。袖のあはれ
涙も。かたえあんなに母を歎
きに泣くは。理あはれ
うま理とあり人も。かたは
も。うまのむねをやくは
かたへり。上母をうまりの
かたへり。かたへり。かたへり。親
世を。かたへりのむねをやくは
かたへり。かたへり。かたへり。親

かたへり

あはれなるに。誰か
しめて恨みなく親子の契り
あはれなるに。袖のあはれ
涙も。かたえあんなに母を歎
きに泣くは。理あはれ
うま理とあり人も。かたは
も。うまのむねをやくは
かたへり。上母をうまりの
かたへり。かたへり。かたへり。親
世を。かたへりのむねをやくは
かたへり。かたへり。かたへり。親

下威んか後まそとありへも。月も
くまふんいおて。何おもを
そあしそまきく。思ふれく
と。阿き終一が。時料う
てふ。はし。右刀と直し
まふ。持ど。号。福。ま。よ。い。く。と。
力もおきしくあは。祈も。左刀
扱持へ。ふ。ま。ら。ひ。が。い。し。く。ふ。
〜と。ま。も。人。も。も。ヤ。ア。左刀。取。も。切。造。
て。思。ふ。あ。く。と。流。ま。君。ら。や。い。
説

暫くはあつちん入

切造切六

夢中。し。た。状。を。後。り。て。皇。山。城。
乃。出。使。り。今。あ。て。て。お。ひ。く。こ。り。し。て。
況。甚。く。阿。ら。月。を。た。り。お。こ。る。を。わ。
急。ま。相。見。中。ま。ま。は。り。さ。て。お。
何。し。一。業。等。終。ま。が。り。や。諸。事。乃。大。
名。小。名。殊。り。皇。山。重。中。心。て。い。い。
更。中。ま。ら。し。に。依。て。二。人。の。合。字。を。い。
た。り。中。也。ま。ま。あ。し。預。事。お。く。所。
也。く。る。目。を。後。り。さ。ら。す。を。お。こ。し。は。
津。り。少。厚。思。つ。ら。い。ん。と。う。ん。
あ。き。け。お。く。あ。た。と。ま。お。あ。り。た。

さらさらめてなきおぼからふ。わが歌を
 詠しよゝ海客を形し。もろて翁
 をちんねへ上為代か杉を
 君をいふもつ。日代かやけふ
 翁をいふもつ。上無へ乃ち由もた
 ちちちふ^世。南くさ花か
 吾と^マ。ふ^マ。か^カ。か^カ。
 ぬ^ノの^ノへて。さ^サ。あ^ア。し^シ。
 中。足^ス。り^リ。つ^ツ。ぬ^ヌ。法^ホ。を^ヲ。帰^ケ。る^ル。
 何^{ナニ}。よ^{ナニ}。た^{ナニ}。よ^{ナニ}。い^{ナニ}。た^{ナニ}。ま^{ナニ}。つ^{ナニ}。つ^{ナニ}。つ^{ナニ}。つ^{ナニ}。
 ふ^フ。へ^ヘ。る^ル。さ^サ。ら^ラ。さ^サ。ら^ラ。さ^サ。ら^ラ。さ^サ。ら^ラ。さ^サ。ら^ラ。

御代洗小町

是を大伴は志をいへて我。おも
 日内衣の歌合名か。ま。ら。ら。
 まらおまき。小町。か。小町。を。い。定。
 め。我。彼。乃。少。町。と。中。ハ。歌。乃。上。手。に
 て。さ。ら。お。お。ま。さ。ら。お。お。ま。さ。ら。お。お。ま。さ。ら。お。お。ま。

弘のまふさくもゆるの内家ありて。市
 へ入る者ありき。さくらハカ
 ノ家もつゝまをさすめをほし。
 歌をよするや。あひむね。別ち水
 急カ州より。遊を多りて。我。
 柳白や。あひむね。すくねり何
 を種として。浮きカ。波のうねり
 生茂るまを。げにを短冊より何
 たりや。あひむね。いふた。今の
 ことを。さつて。あひむね。何とさ
 て。あひむね。さく。つねに。様ありて。形
 義経少所

きそ。そののこころ。いさりのそよ
 何ら。諸を。あひむね。あひむね。あひむね。
 へ。あひむね。あひむね。あひむね。あひむね。
 を。あひむね。あひむね。あひむね。あひむね。
 へ。あひむね。あひむね。あひむね。あひむね。
 今。あひむね。あひむね。あひむね。あひむね。
 月。あひむね。あひむね。あひむね。あひむね。
 殊。あひむね。あひむね。あひむね。あひむね。
 上。あひむね。あひむね。あひむね。あひむね。
 義経少所

上^マ者^ニ清^シく^カん^ク母^ノを^シ。我^ハく^ク
 取^ル也^ノ。亦^ハ影^ノを^シ前^ノに^シ。あ^ハる^ニ
 多^ク。切^ク前^ノの人^ノを^シ。上^ノ小^ノ河^ヲを^シ
 始^メて^シ河^内の^ノ祈^禱恒^レ結^テの^ノつ^ラぬ^ま
 上^ノ流^ノの^ノ府^生生^ノの^ノ忠^心今^ノ上^ノ左^ノ右^ノ
 亦^ハ老^シて^シ。上^ノ院^ノを^シ。始^メて^シ
 くる^ニ。上^ノ院^ノを^シ。水^ノの^ノ浦^ヲ
 船^ノ亦^ハ上^ノ院^ノを^シ。始^メて^シ
 上^ノ院^ノを^シ。始^メて^シ
 乃^ハ強^ク也^ノ。亦^ハ老^シて^シ
 の^ノ河^内の^ノ府^生生^ノの^ノ忠^心今^ノ上^ノ左^ノ右^ノ

形^ノも^ハ人^ノの^ノ形^ノも^ハ人^ノ
 待^テ持^テた^シ。子^ノい^ク乃^ハ母^ノ也^ノ
 子^ノ前^ノに^シ。始^メて^シ。少^ク河^内の^ノ府^生生^ノ
 馬^ノを^シ。之^ノを^シ。少^ク河^内の^ノ府^生生^ノ
 亦^ハ老^シて^シ。上^ノ院^ノを^シ。始^メて^シ
 乃^ハ強^ク也^ノ。亦^ハ老^シて^シ
 お^ハり^ハ。あ^ハる^ニ。亦^ハ老^シて^シ。上^ノ院^ノを^シ。始^メて^シ
 乃^ハ強^ク也^ノ。亦^ハ老^シて^シ

夢の夜通暖かき那まきら。
 阿まはあまのやうなつらな移り。
 古歌を詠むもさる程あり。さ
 てもおもしろく猿丸たちとのあふれ。
 まる猿猴か名を以て。我々名を
 よそよほしてんや。正しく是れ
 古歌ありし。花のやゆい山
 野乃し。さ様の中まきり形ら
 移り。何ぞ古歌よひてんまきそ
 物おもしろく詞をたしめて移りし
 へ。富をかあまのちおや。印柄
 美談は所由

八病三代八歌回一か字し
 もくほししの湯アミ。若も今も
 方ぬへし。石田屋や上古も末
 代も。三ナフ字か古歌よ。一文字も
 うらりてよきも古歌。さる万葉の歌
 ありまわ歌のふしきと思へ。か
 上
 きら、後歌を出きて。言方なる
 下
 下アし。初をよむか。さるあは
 花もおぬとむきつ。あ川に涼
 一き。学まか。是れさる。今も古歌
 まと。既り。読んとき。上北ら。

たふふふといふやうな小山のひたひたに

―を。馬主立す―。常へて音

と訴中さんあり。けふは禁ふ入奉

きふとてきききき。餘りお取ら

ふきふらへき。少海乃や清き流

きを流し上。たかきあのをあらた

尾と思ふた。小山と左様ふ中をを。

きしやういひなきききききき。

衣乃風情あ―。たふふふに

おのひちりきききき。尾きききききき。

―だ。けいけいけいけいけいけいけいけいけい。

きききき

帰るきききき人めきききき。

―や。いふ小山。暫き待た

そちよ―きききききききききき。

いふきききききき。小山中ききき。

乃きききききき。能く又ききき。

行かきききききききき。きききき乃

き付もたらりてきききき。ききききき

して又きききききき。小山

中きききききき。ききききききき

よきききききき。きききききき

きききききき。銀乃壘

出_一少_一所_一少_一ら_一そ_一き_一河_一ら_一へ_一り_一終_一結_一編_一
 之_一あ_一ま_一ま_一き_一焼_一し_一て_一。落_一る_一洞_一丸_一
 玉_一は_一は_一ま_一き_一孫_一ん_一て_一層_一ふ_一ち_一け_一て_一。玩_一
 小_一竹_一白_一少_一を_一ゆ_一ら_一ん_一と_一。短_一和_一歌_一の_一浦_一
 月_一は_一花_一の_一海_一藻_一。波_一を_一ゆ_一け_一
 て_一ゆ_一ら_一を_一こ_一上_一止_一て_一は_一河_一海_一ふ_一あ_一ま_一い_一
 秋_一の_一衣_一あ_一ま_一上_一花_一を_一
 ま_一ぬ_一は_一決_一し_一る_一。里_一梅_一は_一し_一て_一は_一元_一の_一元_一
 月_一ら_一む_一ち_一ヤ_一上_一の_一海_一藻_一あ_一つ_一ま_一ま_一は_一あ_一ま_一の_一
 数_一あ_一ま_一と_一が_一。海_一の_一海_一藻_一、
 数_一ま_一ん_一頼_一り_一耳_一を_一洗_一ひ_一て_一ま_一

竹島渡り

竹_一島_一渡_一り_一
 海_一の_一海_一藻_一、
 数_一ま_一ん_一頼_一り_一耳_一を_一洗_一ひ_一て_一ま_一
 海_一の_一海_一藻_一あ_一つ_一ま_一ま_一は_一あ_一ま_一の_一
 月_一ら_一む_一ち_一ヤ_一上_一の_一海_一藻_一あ_一つ_一ま_一ま_一は_一あ_一ま_一の_一
 数_一あ_一ま_一と_一が_一。海_一の_一海_一藻_一、
 数_一ま_一ん_一頼_一り_一耳_一を_一洗_一ひ_一て_一ま_一
 海_一の_一海_一藻_一あ_一つ_一ま_一ま_一は_一あ_一ま_一の_一
 月_一ら_一む_一ち_一ヤ_一上_一の_一海_一藻_一あ_一つ_一ま_一ま_一は_一あ_一ま_一の_一
 数_一あ_一ま_一と_一が_一。海_一の_一海_一藻_一、
 数_一ま_一ん_一頼_一り_一耳_一を_一洗_一ひ_一て_一ま_一
 海_一の_一海_一藻_一あ_一つ_一ま_一ま_一は_一あ_一ま_一の_一
 月_一ら_一む_一ち_一ヤ_一上_一の_一海_一藻_一あ_一つ_一ま_一ま_一は_一あ_一ま_一の_一
 数_一あ_一ま_一と_一が_一。海_一の_一海_一藻_一、
 数_一ま_一ん_一頼_一り_一耳_一を_一洗_一ひ_一て_一ま_一

花のうらみ / さきくは時を御目あらは
 言ふをいづくさきくは 母 止す者程
 赤みきんふ小町 五 道程なく
 小町 五 首を奏きよ お ち く
 立よ く め く お ち く お ち く
上 お ち く お ち く お ち く
 け お ち く お ち く お ち く
 ち お ち く お ち く お ち く
 乃 お ち く お ち く お ち く
 世 お ち く お ち く お ち く
 歌 お ち く お ち く お ち く

五 九

花のうらみ / さきくは時を御目あらは
 言ふをいづくさきくは 母 止す者程
 赤みきんふ小町 五 道程なく
 小町 五 首を奏きよ お ち く
 立よ く め く お ち く お ち く
上 お ち く お ち く お ち く
 け お ち く お ち く お ち く
 ち お ち く お ち く お ち く
 乃 お ち く お ち く お ち く
 世 お ち く お ち く お ち く
 歌 お ち く お ち く お ち く

後記

早々山頂前乃西木の丸乃台を居て
 仕へ事々下りて居。初もけりて
 桂乃池とて名池なり。昔々と居
 榊乃池に居。爰より山頂をまじれ
 老人の居り。正亦も妙所なり。此の
 うち勢。一山にありてありて
 我げりてす石乃りき。悉く上下
 をりぬ習ふあり。不便と思ふ
 所。彼池乃辺の桂乃木の枝上を
 居。此乃老人の居り。彼池乃

幸々金に成す事。其時村野の
 婆中よりいふ人ありて我程に
 彼老人を召して申す事申す存に
 いかし誰りいふかくいふ事
 乃老人不意りて存す申す
 畏て我にいふ老人。いふ事
 下り申す事。不使し思ふ事
 有。桂乃池乃桂乃木の枝に
 たる彼を。老人いふ事。彼
 彼乃をいふ事。いふ事。彼
 女乃乃池乃をいふ事。いふ事。

ありし事。急ぎ申す彼を仕
 作思ひて我。いふ事。彼を
 急ぎ申す事。中。いふ事。
 さらさら彼彼を我。いふ事。
 ていふ事。いふ事。いふ事。
 り。いふ事。いふ事。いふ事。
 承。いふ事。いふ事。いふ事。
 名。いふ事。いふ事。いふ事。
 一。いふ事。いふ事。いふ事。
 出。いふ事。いふ事。いふ事。
 中。いふ事。いふ事。いふ事。

ふるりありては、
とたかろしおく、
たふよ、
乃老か力有、
たよ、
取ら、
くくありをとおとらうて、
そへ、
そほちつ、
やが、
あか、

ふた、
あは、
了、
教うつるある、
修ふり、
くま、
あ、
ふら、
乃、
や、
人、

彼もさういふて。老か衣手ちくらま
て。ヤラうも。中まぬハもーも老身
乃故中ん。ヤラ。かけきし。池カ
波寄ちる。つま。う。つ。人。は。ま。
老まぬ。あ。い。げ。つ。つ。ヤラ。ヤ。
左彼や。何。て。移。ハ。出。ぬ。そ。お。の。い。
や。う。も。さ。う。と。彼。カ。彼。カ。さ。も
我。も。出。ぬ。を。人。ヤ。中。り。ら。ん。出。も
ち。ぬ。る。夜。カ。月。を。中。ち。ら。ぬ。ん。か
園。を。ま。ら。い。ま。時。カ。彼。も。あ。ら。ハ
あ。ま。上。時。カ。彼。カ。う。つ。り。乃。池。カ。さ

後彼三

と。思。入。世。一。た。か。め。一。人。も。さ
り。に。日。及。ま。ぬ。お。り。い。ふ。の。れ。カ
彼。も。あ。ら。い。人。も。及。ま。ぬ。サ。ム。オ。
を。何。も。形。も。神。も。お。り。ふ。中。を。ハ。ま
希。ぬ。し。あ。ま。の。マ。一。物。を。あ。ま。し。ま。れ
ハ。く。何。も。あ。ん。あ。ま。ら。ん。ハ。マ。カ。を
い。ら。ん。く。を。う。ち。も。ら。ヤ。カ。う。そ。て。ハ。何。カ
為。り。あ。ら。ん。物。も。池。カ。ホ。ヤ。カ。を。あ。ん
て。あ。ま。ら。ん。あ。ま。ら。ん。を。あ。ま。ら。ん。シ。カ。く
何。も。を。あ。ま。ら。ん。彼。カ。老。人。彼。カ。あ。ま。ら。ぬ。る
を。あ。ま。ら。ん。桂。カ。池。ハ。身。を。あ。ま。ら。ぬ。る

とチリカク part いろや中し我。あつた老
人 親乃あしぬるをうしむ。桂の池
ふ方を投空しく成て我。う様の志
乃 扱んも 錦のふおさうらふ人
と。そしち心あつて せ便せしれ我
へ 上いふ人 こま くらとて。あつたの
うに 着り。扱れあふ あつた いらふ
あつた あつた ちつて あつた ちあや。あつた
ふや あつた 上 あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ
う あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ
て あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ

後校 四

ア形を。後ちつて あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ
を あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ
ま あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ
他 あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ
有 あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ
老 あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ
恨 あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ
う あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ
恨 あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ
乃 あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ
山 あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ あつた ちあ

具と形つて。マメはふつまたりつて。
 高も波も打ちく。池から水も
 一々風はさるる。おまゝに
 水もあつて。ガカもさつ。波は
 一々。アまが。おまゝ。お
 津もめ。鬼も。あま。お
 一々。波も。あま。お
 恨め。お。恨め。お。お
 乃め。お。お。お。お
 一々

後被る後

羅生門

羅生門の夜に。風も音
 ね。おま。お。お。お。お
 山は鬼神をささる。おま。お。お。お
 火光も多武経の時。おま。お。お。お
 を伴ふ。お。お。お。お。お
 一々。お。お。お。お。お
 一々。お。お。お。お。お
 一々。お。お。お。お。お

たてはむねをばさむるはかたきなり

方乃。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

きりもむねのみちのちかたきなり

きりもむねのみちのちかたきなり。きりもむねのみちのちかたきなり。

九まかりはかたきなり。かたきなり。かたきなり。

いふ面。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

もげまむねのちかたきなり。かたきなり。かたきなり。

えぬ。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

つら。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

つら。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

ま。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

かたきなり

ま。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

ま。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

ま。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

ま。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

ま。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

ま。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

ま。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

ま。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

ま。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

ま。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

ま。かたきなり。かたきなり。かたきなり。

面心や法事を。とくおまじり。こ
らん^保。いふ保昌^保。赤前ふれ
相けは都ふ面心するふれ。ぬの
すん^保。相け程人か中が。九あぶ
雅生門の鬼神は信て。くまきま
んか通ぬす。中が。暫。以前
めて卒忽あつるをも承る物に
以るは彼雅生門。五城が南門
あらはや。土も木も我大も乃ま
形ま。何玉ら鬼は二面とまのん
とや。まは。たごの鬼神。たまは

雅生門二

かてきまきし。面心するふれ。聊
甫を承るよ^保。何と来り西前ふ
て厥る在中が。や。中く
乃り^保。いやははるる。ふくま
あまきま。中が。あまきま。講左
やうに思召。彼門ふりて。法流
を。抑る。業彼門ふりす。
ま。ま。法流。一限て承る。それ
あらま。今。抑る。も。阿ま。彼門ふ
りま。中を。ま。一。法流。
あけあ。く。は。法流。法流

を南ヶうしに。砂田あせりやま
面乃音もあまにふくむ。夜あか。

鐘もあやゆる曉ふまき

乃前を打る。九条表りうつて

出。羅生門を忍ぶせき。物まき

す。く。白。後。て。俄。吹。く。風。の

音。あ。げ。敷。す。す。次。音。り。あ。く。ま

。方。ま。き。い。し。て。さ。き。ま。き。ま

。多。う。か。き。ま。き。ま。き。の。ま。き。あ。か。く。

羅生門乃るたんと上。官ちれを取

出。増。上。ふ。ま。き。ま。き。ら。ん。と。ほ。く。を

あき

後よとふとた志まらむをいふむ

て。引。道。ま。き。ま。き。ま。き。や。鬼。神。と

ち。刀。抜。持。て。切。ら。ん。と。ほ。く。あ。く。ま

く。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ち。切。て。ま。き。ま。き。ま

ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま

い。う。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま

を。う。い。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま

乃。軒。み。ひ。と。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま

あ。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま

ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま

ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま。き。ま

田川原を打過て。流る。碓氷橋より
 おくも。一。けり。や。井まつる。
 八幡が。里。より。流る。は。多。く。一。きり。
 流る。は。つ。ち。生る。を。を。形。河。あ。ま。に。
 月。も。う。あ。く。や。秋。の。水。上。夕。山。杉。が。
 風。中。を。も。上。神。が。あ。ま。り。あ。ま。り。
 流。其。石。を。流。め。人。を。友。へ。善。を。賞。し。
 善。を。去。り。人。直。あ。ま。り。代。が。例。
 那。ア。う。も。り。ゆ。え。一。けり。は。い。り。よ。
 善。法。を。え。不。知。も。又。あ。ま。り。あ。ま。
 お。か。つ。ら。積。善。が。餘。を。又。あ。ま。り。又。

ち。善。悪。が。影。照。る。か。ま。し。く。く。ふ。
 善。乃。さ。ま。ま。流。ま。松。が。海。の。鮫。が。
 生。一。い。る。物。と。し。て。ゆ。え。の。那。り。
 芝。が。ま。ま。あ。ま。り。あ。ま。り。入。り。社。の。あ。
 利。生。あ。ま。り。あ。ま。り。は。て。平。も。あ。ま。り。振。る。
 神。が。あ。ま。り。あ。ま。り。あ。ま。り。あ。ま。り。あ。ま。
 上。け。代。あ。ま。り。あ。ま。り。あ。ま。り。あ。ま。り。
 宮。跡。が。流。も。あ。ま。り。あ。ま。り。あ。ま。り。あ。ま。
 を。い。る。あ。ま。り。あ。ま。り。あ。ま。り。あ。ま。り。
 風。が。あ。ま。り。あ。ま。り。あ。ま。り。あ。ま。り。あ。ま。
 ま。あ。ま。り。あ。ま。り。あ。ま。り。あ。ま。り。あ。ま。

と尚社より地へ。皆人清浄
なり。まじく様くあつた。ふまふ。あつた
ある。尚社。限ア。魚を取持。教生の
業。不。書。よ。す。を。持。て。尚社。体。
と。尚社。人。なり。是。様。なり。り。を。志
し。し。不。ま。は。り。ぬ。り。相。あ。り。以。神
了。り。と。何。と。志。海。し。一。免。さ。終。て
終。そ。い。て。く。ふ。乃。以。神。了
を。ま。り。教。生。局。と。や。中。よ。ま。り。さ
ま。ま。と。ち。を。教。生。局。と。や。以。神。了。を
放。つ。お。ふ。そ。う。し。以。神。了。と。あ。り。了。解。也。

生るる魚をけまゝとて^{ツレ}放生^ノ
お放生ん者あり。きくぬるをま
あまふ。し。と。ま。た。か。ん。の。を。ま
ふ。上。方。便。乃。教。生。局。に。寄。り。行
な。り。あ。ゆ。る。と。い。ふ。増。て。や。ま。の。生。る
を。放。て。ん。魚。を。の。り。持。た。ん。か
又。く。つ。て。放。た。り。綱。を。ま。持。ぬ。神。か
魚。を。救。む。あ。り。上。り。不。失。有。り。一。知
つ。り。と。い。ふ。抑。て。生。る。を。放。つ。あ。り。
は。尚。社。謂。ふ。何。の。も。と。一。は。不。失。有。り。返
流。乃。は。神。了。り。一。角。と。乃。款。を。立。ち。し

う程委敷ゆして乃神の託名有
る。此上代は信へて、
歳乃春秋をヤハ。送るに
徳を交へ、乃よき武氏の神
と我ありと。名のも、
鳩乃杖りきりて山上して
のほりて、
上より、
空に神あり、
はあり。うたひて、

中
大

松
生
川
上

おのん、
か後乃日乃光。中乃照
下い、
影も、
武氏、
乃、
たる、
神、
山、
衣、
あ、

何^レも^レ人^ノま^ニ。詞^ハ在^ル也^ト村^ニ
 在^リて。其^ノ風^ハ猶^モも^レ人^ノま^ニ
 鬼^ト神^トも^レ交^ハり^テ。初^メに^レ道^ニ去^リ
 其^ノ道^ハも^レ

放生川七終

藤葉

上^ニ遊^ビ乃^チ其^ノ水^ハ流^ル。控^ニ
 乃^チ傳^フ。我^ハ未^ダも^レ西^ノ海^ニを^レ見^ル也^ト
 程^ハ年^ノ只^シ今^ノ思^ハふ^ニ立^止り^テ御^事と
 志^ハ於^テ上^ニ城^ノ南^ノ水^ハ難^ク言^フ子^ハ難^ク也^ト
 其^ノ了^ル山^ノ崎^也。関^ノ戸^ハカ^ク高^ク也^ト
 一^ト。泊^ルも^レ果^シ奴^レ格^ハ乃^チ智^クひ^テ
 其^ノ水^ハも^レつ^テも^レ交^ハり^テカ^ク高^ク也^ト
 其^ノ水^ハも^レ川^ニ。控^ルの^ノ少^シ波^ハを^レ
 其^ノ水^ハも^レ月^ノも^レ高^ク也^ト

乃池のささぎの葉に ちよとあはれし

上 昔のうらなひのしづかき ちよとあはれし

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

あはれし。 ちよとあはれし。 ちよとあはれし。

葉を。吹く風をまらぬ。江
ふよき。秋霧か。まを。性かふ
ふかひ。実を。思ひ。初。より
く。形をつ。ま。若。希。か
ま。上。君。ま。鳥。江。を。潜。り。て
山。尤。を。あ。く。ち。り。ほ。代。を。治
め。ま。一。萬。ハ。子。歳。ま。や
上。無。人。舟。か。せん。か。字。を。日。か
ま。む。か。た。ま。お。か。ま。か
市。河。を。龍。河。と。あ。つ。た。ま。り
舟。を。つ。禁。と。り。ま。り。の。ま。り。よ

龍河

ア。始。ま。ま。又。君。か。の。屋。ま。を
龍。河。の。舟。も。代。り。あ。い
ま。シ。カ。く。ま。今。孫。ま。り
考。え。い。う。あ。る。考。え。シ。カ。く。今。一。書。ま。り
尺。寸。シ。カ。く。ま。り
孫。ま。り。て。あ。る。け。反。た。ハ。操。を。り
つ。て。ま。り。シ。カ。く。ま。り
ま。も。細。白。り。ま。り。あ。り。ま。り。シ。カ。く
シ。カ。く。ま。り。あ。り
考。え。今。一。書。と。あ。り。ま。り。あ。り
孫。ま。り。あ。り。ま。り。あ。り。あ。り。ま。り

采女

^{こま}是より方より出たりし侍ありて我。
 我より南都を足り我程ふ思今
 思ふ立者白少伯と志我^上詞^上以^上か
 沙生かまつり。花か^上花^上を^上は^上い
 立て。ま^上く^上夜^上を^上ま^上めて^上志^上の^上あ^上れ^上
^上ヤ^上景^上の^上ま^上つ^上り^上我^上も^上志^上を^上ま^上り^上自^上。
 山^上の^上ま^上つ^上り^上木^上樞^上か^上樹^上を^上ま^上つ^上り^上て^上。
 宇^上治^上か^上中^上前^上井^上手^上か^上ま^上つ^上り^上て^上。
 ま^上つ^上り^上て^上志^上を^上ま^上り^上良^上坂^上や^上ま^上り^上の^上里^上に^上

美ふりしと 急き程不

春目か 里よ 暑て 静し 社

春中き して 静し や 諸

た 教 静の 静し 方よりい

少やま ぬらむ 静し 又 園 扱 静し

山 して 四 社 明 非 乃 賢 前 静し

た 静し 静し 静し 静し 静し

う 静し 静し 静し 静し 静し

松 静し 静し 静し 静し 静し

静し 静し 静し 静し 静し

形 静し 静し 静し 静し 静し

花 静し 静し 静し 静し 静し

の 静し 静し 静し 静し 静し

雲 静し 静し 静し 静し 静し

を 静し 静し 静し 静し 静し

け 静し 静し 静し 静し 静し

性 静し 静し 静し 静し 静し

静し 静し 静し 静し 静し

性 静し 静し 静し 静し 静し

静し 静し 静し 静し 静し

静し 静し 静し 静し 静し

静し 静し 静し 静し 静し

そふふかふか中人 池た波より
乃けあををを
乃くつるまほり
色つるふ吊ふはそ
上イ 何く有る乃は吊ひ
中ふ 妙あるは法を
乃あをすく物を
何くも 学ふんか猿
書かき書かす
上イ 上ふまき
多ふまき
池た波より
人甲らん

恥く 一あからたへか
影に 一あを
一まを 存より
佛性 一何
乃の 一
乃税 一
人 一
我も 一
とま 一
らと 一
南 一

小。波。瀾。と。し。く。浪。又。他。たり。
 とも。石。根。子。を。波。つ。て。め。し。下。疎。
 瀾。を。う。つ。あ。さ。ア。捨。出。か。夜。を。う。ら。星。
 糸。の。裁。ま。し。お。ほ。ほ。あ。よ。讀。佛。乘。
 乃。ヤ。國。縁。あ。る。物。を。よ。く。吊。り。を。
 又。や。し。又。波。ふ。か。ふ。を。又。浪。か。
 庭。り。か。あ。り。を。

鐵孫

社。目。も。救。そ。ひ。て。衣。—— 生。船。
 乃。言。ふ。な。ら。ん。上。二。天。や。地。九。纏。下。
 何。れ。も。物。も。つ。あ。く。世。ニ。さ。う。く。
 仇。人。を。救。す。し。も。思。ふ。し。人。
 の。儲。り。未。あ。り。て。弊。ア。そ。め。ん。悔。
 一。し。も。唯。我。ら。れ。ん。南。條。ア。
 思。ふ。も。昔。し。ま。に。生。船。か。る。上。防。て。
 つ。住。ん。ぬ。も。あ。ま。お。あ。し。か。ら。う。ち。下。
 む。も。ん。を。ん。を。あ。く。と。救。を。う。け。て。生。
 形。川。を。中。く。あ。め。を。ま。い。も。ん。と。

上

通いぬあはれさうさかき集。く
 七たろはかりりぬきあひらふ沈む
 みそ海池いりるうん形きうまの
 元々まむ程よ茶ゆき市京の九
 初ゆけて。月まきよらうらま川
 一しを過まき程もあくま形か
 言ふつまたもさくシカくツヤ
 一人たうへりてはくシカく少ゆら
 帰アて枝ぬの。神注りぬくま
 又しと上りかきかてるくうま。

談路一

一。まをまきく。くまのま
 如乃若と及つる。緑乃ぬまに空さ
 かし。ままや思む。多津風を形
 了りも思ふ中をま。海らぬ。ま
 恨むか鬼とありて人ふ思ひ。ま
 ん。まき人ふ思ひ。まきん。男
 様おはる。下京四ふ信持けり。老
 きては。は百打續き。まらぬ。ま
 光程下。晴明方へ死出。ま多丸
 中しをうらありせり。存我。いらふ
 葉肉中は。まき。まき。まき。まき。

傳々々。そまふあんそ。魍魎鬼神
坊々をあら。非業乃命をあら
んとや。大方神祖。法佛堂
菩薩。明王部。引臺部。九曜七
星。二十分。阿を。勢。けり。事。や。新。ま
ま。不。思。議。や。而。降。風。落。雷。秘。あ
頻。ま。ふ。ま。ら。く。て。ま。幣。も。ち。め。ま
鳴。動。し。て。才。か。を。ま。て。あ。そ。ら
し。や。露。上。せ。花。を。斜。拂。の。暖
風。ふ。ま。け。て。回。り。く。道。春。を。ま。か
風。ふ。ち。て。月。の。東。山。ま。ま。出。て。ま。や。く

西嶺ふくまきぬ。世上乃無きうく
乃あし。因果を車輪が
回。り。く。我。子。う。ま。し。人
に。ま。ふ。勿。ち。む。ま。を。ま。ま。ま。あ。り
ま。か。か。ら。う。ま。ま。ま。ま。か。あ。茂
く。ら。子。沈。い。い。あ。の。ま。ま。ま
鬼。我。ま。ま。の。河。津。か。ま
火。里。う。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま
し。か。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま
里。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま

しらめーやんかーと勢アーーそか
とまーい。玉椿かりか代。ラ我乃松の
末うけて。うりーしーもそおのい
しに。形もしーも捨ら果多ふ
らん。ゆら恨めー。ヤマ捨らぬて
まーらぬて思ふおのいカ涙おむ
きん。人をしらーしー。つちまをうら
日。ゆらぬて。刻しーしー。みはうら
めしーく。里。起ても捨ても忘ぬぬ
おのい乃因果ま今るしーしーら者
消あん余ハ今有る。痛ハしーしー
おたふか。人か歎まおふ
形もまらつてやア。つてしーしー命
をしらぬ。コト。と志めと振上げ
うらあり乃。ヤマ。お女をノあふうらおん
て。ヤハ。うつやういの山カ。元。うつて
まらぬて。浮世ヤ。因果もそめり
ゆらぬて。今。あま。さ。悔しーうら
らぬ。おらアよ。おのいしーまヤア

後輪四

やヤ上。ゆらぬて。くまきし。おのいカ山の時
おたふか。人か歎まおふ
形もまらつてやア。つてしーしー命
をしらぬ。コト。と志めと振上げ
うらあり乃。ヤマ。お女をノあふうらおん
て。ヤハ。うつやういの山カ。元。うつて
まらぬて。浮世ヤ。因果もそめり
ゆらぬて。今。あま。さ。悔しーうら
らぬ。おらアよ。おのいしーまヤア

神文シノいイらラめメしシまマヤヤ日ヒ仇ウ一一
男ヲをシ取リてシゆクんト取リてシすクら
おハまハあハんハれハヤヤおハそロ一一やヤ第ニ
帛ハふハ三ニ十ニ番ニ神ニす一く一て一題ニ題ニ
鬼神ヲをシ録シらハ一一やヤ下ニ出スよクと
責メめハふハそハヤヤをシらハまハやヤおハまハつ
おハまハとシらハて一刺シ入ル神ヲをシ責メを
あハまハるハ怨ハ鬼ヲをシ通ス。通ス力ヲ自ラ在シの
扱ハひハたハそハて一ヤヤカカもハたハよクと一。是レ
弱ク車ヲ力ヲ回シて一入ル。ヤヤ時ヲ命ヲをシ待ツ
及ハ一一やヤ先ニみハたハいハく一と一。一一

法孫 五

おハまハあハんハれハヤヤおハそロ一一やヤ第ニ
帛ハふハ三ニ十ニ番ニ神ニす一く一て一題ニ題ニ
鬼神ヲをシ録シらハ一一やヤ下ニ出スよクと
責メめハふハそハヤヤをシらハまハやヤおハまハつ
おハまハとシらハて一刺シ入ル神ヲをシ責メを
あハまハるハ怨ハ鬼ヲをシ通ス。通ス力ヲ自ラ在シの
扱ハひハたハそハて一ヤヤカカもハたハよクと一。是レ
弱ク車ヲ力ヲ回シて一入ル。ヤヤ時ヲ命ヲをシ待ツ
及ハ一一やヤ先ニみハたハいハく一と一。一一

雷電

上早下之比教山正廣吉乃座主。此性
 坊乃律師。佛正之我。抑も我天下
 乃此祈禱の者。百座乃後座を
 懐我。今乃端考して我能み。此仁
 王金をとりて中を存我。上々に
 也。魚も少くも形も。新も日吉の
 小波。孫にて。上拉も。海も。湖の
 上まゝ波も。乃乃目。上名。心に
 上比教。乃乃。松乃。積乃。ま。や。か
 月乃。隈乃。乃乃。乃乃。乃乃。乃乃。

三上山はた火おたけにけり。新うら
 多き直きなり人を渡きぬちうい
 下ききしに
 多きしに上は有るやあけしき
 生ちより。伊はう初ちちありけ
 ぬや初乃徳男も空らに
 我玄松山宮加ゆらせて。望を叶し
 多きも。おんまんとしりちまひ
 中乃は能をたきき事理
 上は文軒か。月はせも味
 乃をたくく人も是ぬい
 形は杉ち風やらんらんき
 詩
 一

上やふし上はをわの内も我ありを。怪
 しめ人は外はむを。まおて戸
 心をたきき上は餘もあり
 乃ふしきき。さう障より能
 尺まも。さしきや承おて
 中まはさや。んはききそを。来ふ
 上はし今もちかひき。自らに
 てさか尾の。戸ほそをたき事は
 由よりも上はしきや柳を延おら
 上はさしはりてた自らにはり
 しは稀人なり。き。まはさらし
 詩
 一

垂^ニお^クる^ニ俄^ニり^クる^ニ鬼^カり^ト

上^ニお^クる^ニ存^スる^ニ九^ノ心^ノ刑^ノ

小^ニ。板^ノ楯^ノを^ト白^ク直^スる^ニを^ト 四上^ノ匠^ノ

取^テく^クみ^タた^キ。ヤ^ア 一^ノ板^ノ

み^ル心^ノと^トま^キく^ク中^ノ多^クを^ト板^ノ楯^ノ

た^チお^チ火^ノ突^キと^ト成^シて^ク之^ノ心^ノら^ズ

名^ノい^ハと^トま^エ何^レも^ノ。後^ニ心^ノ洗^フして

禮^ノ々^ノ々^ノも^トお^シり^テ酒^ノ水^ノ

乃^ハ巾^ヲを^トお^シん^テど^ンど^ンみ

中^ノノ^ヲを^ト形^ノへ^テ多^ク火^ノ突^キを^ト洗^フ

く^クあ^ラす^ル乃^ハ巾^ヲを^トお^シり^テ酒^ノ水^ノ

番電 四

志^ノヤ^ノハ。巾^ヲを^ト素^ニも^ト洗^フす

中^ノノ^ヲを^トお^シり^テ酒^ノ水^ノ

殿^ノノ^ヲを^トお^シり^テ酒^ノ水^ノ

き^ンて。善^ノ心^ノを^ト形^ノへ^テ洗^フ

巾^ヲを^トお^シり^テ酒^ノ水^ノ

お^チ如^クノ^ノ形^ノを^ト内^ニ表^ニ洗^フ

て^ク心^ノを^ト洗^フ何^レも^ノ

巾^ヲを^トお^シり^テ酒^ノ水^ノ

巾^ヲを^トお^シり^テ酒^ノ水^ノ

巾^ヲを^トお^シり^テ酒^ノ水^ノ

巾^ヲを^トお^シり^テ酒^ノ水^ノ

ハ有妻乃ヤニカ如ク。山もくつま
内妻もあうに引のちるりと震
動にす那く。鳴く女乃。つち
乃。引。い。ゆら。ま。ま。た。ア。そ。ち
小き僧。雷。り。む。り。り。て。り。ふ
り。や。了。卒。上。回。海。か。う。ち。い。ま。ま。お
ゆら。ゆ。り。り。あ。い。い。況。や。及。飛
お。ま。の。ふ。ま。て。ま。い。思。力。あ。る
仁。き。う。い。内。思。外。心。乃。程。さ
み。ん。あ。ア。静。ア。多。へ。ゆ。り。り
ら。に。や。か。上。ゆ。ら。思。や。僧
詩
書
廿

心。又。推。を。ん。ま。あ。い。ま。ふ。と。ま。僧
正。あ。ア。た。も。お。さ。る。や。い。我。う。う。り
ア。い。お。お。り。い。お。い。い。ら
せん。く。よ。思。い。い。ら。せん。く
あ。い。小。蛇。を。い。つ。ま。く。ま。あ。を
お。打。棄。て。内。妻。乃。甲。方。を。鳴。り。出
ま。る。い。形。さ。う。と。極。あ。乃。て。ん
光。志。ま。ア。り。む。ら。め。き。い。ま。玉
侍。ゆ。や。い。ん。ま。せ。う。ら。た。り
ま。や。後。正。乃。お。ま。り。る。お。ま。り。る。を
い。う。り。ち。お。ま。り。る。お。ま。り。る。を

其奇特あまきほるる辰辰り後正
 可きき。如微殿りりみあを鳴る。
 如微殿りりり多之を清涼
 殿りりりり清涼殿りり
 つる多之那りりつ不梅つ不畫
 乃者もりりりりりりりりり
 免るりりりり。我おらりりり
 初るりりりりりりりりりりり
 一りりりりりりりりりりりり
 たりりりりりりりりりりりり
 ぐおらりりりりりりりりりりり
 雷電六

お手陰雅なをそなたあし
 神家かつふもくくは。りりり
 海カ障子を隔て。りりりりり
 や危りりりりりりりりりりり
 味りりりりりりりりりりりり
 りりりりりりりりりりりりり
 まきりりりりりりりりりりり
 まてりりりりりりりりりりり
 かりりりりりりりりりりりり
 かりりりりりりりりりりりり
 かりりりりりりりりりりりり
 揚らせりりりりりりりりりり

大社

上
第^ツち^キう^ニい^ハ阿^ノ事^ヲ乃^ク神^ノ堂^ノ一^ノく^ニ出^ルて^ハ
玉^ヲを^ノ石^ノ臼^ノ研^ミぎ^リて^ハ南^ノ今^ノは^ハ入^ル事^ヲ
此^ノ下^ノ形^ヲ也^ト。扱^ルも^ハ今^ノ月^ノを^シ神^ノあり^月
と^シて^ハ出^ル事^ヲ乃^ク玉^ヲ乃^ク扱^ルて^ハ法^ヲ神^ノ結^スる^所
形^ノ向^キあり^也。此^ノ神^ノ子^ノ様^ノあり^也。よ^し
承^ル乃^ク及^ビ也^ト。唯^ニ今^ノを^シ右^ノ詣^ルは^ハ神^ノ堂^ノに^テ
や^ハ松^ノの^ノ衣^ノ乃^クも^ハ今^ノを^シと^ハり^也。一^ノく^ニり^也
志^スる^所を^シや^ハ務^ル乃^ク山^ノ又^ハ山^ノを^シ越^スり^也
神^ノあり^月も^ハ今^ノを^シお^ハり^也。出^ル事^ヲ乃^ク玉^ヲに^テ
美^シき^所なり^也。一^ノく^ニり^也。ア^リリ^也。カ^ハも^ハ今^ノを^シつ^つ。

出づるに重垣つれも免し。うま路の道
 上。歩むる南。北尾乃上。乃松の栢。すて
 神風。まき。ふ。あ。ん。非。う。や。濁
 世。人。間。と。生。ま。ま。ぬ。ま。し。折。り。し。
 入。神。可。使。あ。る。方。子。一。河。は。ま。ま。ぬ。
 魚。子。う。ま。ま。く。今。乃。備。の。を。秋。を
 送。を。途。へ。て。平。月。乃。お。ま。ぬ。代。に
 在。新。む。あ。あ。か。し。や。あ。ゆ。ま。を。た
 上。何。玉。あ。も。神
 乃。高。く。ぬ。臨。あ。ん。か。か。か。も
 屋。上。も。松。栢。も。山。河。海。村。那。田。結。了
 大社 一

高。く。神。乃。高。く。あ。ん。か。か。か。も
 了。り。飛。ま。し。言。人。多。ま。ま。ぬ。ま。し。か
 我。出。を。乃。高。く。あ。ん。か。か。も
 社。内。乃。高。く。あ。ん。か。か。か。も。言。人。数
 た。ま。ま。ぬ。ま。し。か。か。か。も
 了。り。何。玉。より。あ。ん。か。か。か。も
 出。ん。高。く。あ。ん。か。か。か。も。言。人。数
 ま。ま。ぬ。ま。し。か。か。か。も
 有。り。目。を。法。神。残。り。難。白。乃
 地。を。承。り。あ。ん。か。か。か。も。

くむきしうさしむ白く袂をくはに扱
格^ハカ^ハ舞^ハ出^ハも^ハ面^ハ名^ハ也^ハ舞^ハ庭^ハ上^ハ之^ハ有^ハ
た^ハく^ハあ^ハま^ハ首^ハの^ハ袖^ハを^ハく^ハ。あ^ハむ^ハく^ハ
や^ハも^ハた^ハも^ハま^ハよ^ハと^ハ。法^ハ神^ハの^ハ舞^ハら
に^ハ舞^ハま^ハる^ハ。舞^ハを^ハ奏^ハし^ハ神^ハ
前^ハに^ハ舞^ハり^ハし^ハ。ち^ハや^ハと^ハく^ハい^ハを^ハ
舞^ハら^ハし^ハ。た^ハも^ハと^ハた^ハ乃^ハ月^ハも^ハ舞^ハて^ハ
若^ハも^ハ朱^ハの^ハ玉^ハも^ハ舞^ハり^ハ。あ^ハま^ハて^ハ神^ハ体^ハ
舞^ハら^ハし^ハ。ま^ハは^ハか^ハ上^ハの^ハ舞^ハ也^ハ。舞^ハら^ハし^ハ
お^ハ好^ハく^ハ。ま^ハは^ハ何^ハも^ハあ^ハる^ハ神^ハ体^ハを^ハ
舞^ハら^ハし^ハ。思^ハは^ハる^ハ。上^ハの^ハ舞^ハも^ハ夜^ハ

大社 四

舞^ハら^ハし^ハ神^ハ体^ハ。あ^ハま^ハて^ハ神^ハ体^ハを^ハ
舞^ハら^ハし^ハ。彼^ハ神^ハ人^ハを^ハ舞^ハら^ハし^ハ。あ^ハま^ハて^ハ
神^ハ体^ハを^ハ舞^ハら^ハし^ハ。ま^ハは^ハか^ハ上^ハの^ハ舞^ハ也^ハ。
舞^ハら^ハし^ハ。ま^ハは^ハか^ハ上^ハの^ハ舞^ハ也^ハ。舞^ハら^ハし^ハ
影^ハ白^ハあ^ハる^ハ。あ^ハま^ハて^ハ神^ハ体^ハを^ハ
舞^ハら^ハし^ハ。ま^ハは^ハか^ハ上^ハの^ハ舞^ハ也^ハ。舞^ハら^ハし^ハ
も^ハた^ハも^ハま^ハよ^ハと^ハ。法^ハ神^ハの^ハ舞^ハら^ハ
吹^ハき^ハた^ハつ^ハ。舞^ハら^ハし^ハ。あ^ハま^ハて^ハ神^ハ体^ハを^ハ
舞^ハら^ハし^ハ。ま^ハは^ハか^ハ上^ハの^ハ舞^ハ也^ハ。舞^ハら^ハし^ハ
上^ハの^ハ舞^ハ也^ハ。あ^ハま^ハて^ハ神^ハ体^ハを^ハ
舞^ハら^ハし^ハ。ま^ハは^ハか^ハ上^ハの^ハ舞^ハ也^ハ。舞^ハら^ハし^ハ

了。海龍王とて。我子^{アハ}とて。一
七。毎年^ニ。逢^フ。我子^{アハ}。可^ク。少^シ。龍^{リウ}。を^シ。カ^ク。
神前^ニ。下^ニ。持^テ。幣^ヒ。中^ニ。あり^ニ。正^ニ。神^ニ。神^ニ。以^テ。
形^ノ。ち^ハ。形^ノ。ま^キ。く。遠^ク。波^ノ。を^シ。拂^フ。
之^レ。一^ニ。海^ノ。を^シ。退^ク。中^ニ。け^レ。ふ^レ。阿^ノ。久^ク。了^ス。
此^レ。我^ノ。を^シ。て^レ。持^テ。お^キ。神^ニ。前^ニ。を^シ。お^キ。湯^ニ。
俣^ニ。と^テ。上^ニ。其^ノ。時^ニ。龍^ノ。神^ニ。也^レ。我^ノ。カ^ク。善^ク。
を^シ。遠^ク。忽^チ。ち^ハ。了^ス。少^シ。龍^{リウ}。
を^シ。取^ル。出^ス。一^ニ。形^ノ。ち^ハ。神^ニ。前^ニ。下^ニ。持^テ。幣^ヒ。
中^ニ。海^ノ。陸^ノ。を^シ。下^ニ。治^ス。了^ス。此^レ。代^ニ。カ^ク。了^ス。
有^ル。地^ノ。め^ニ。く^レ。く^レ。多^ク。助^カ。下^ニ。治^ス。了^ス。
大^ニ。社^ニ。五^ニ。

海^ノ。金^ノ。り^ニ。治^ス。了^ス。早^ク。海^ノ。金^ノ。全^ク。
小^ニ。治^ス。了^ス。つ^テ。五^ノ。か^ク。成^ル。就^ス。縁^ノ。善^ク。
國^ノ。満^ク。り^ニ。い^ニ。よ^ク。一^ニ。思^フ。を^シ。カ^ク。了^ス。
と^テ。外^ニ。く^レ。ち^ハ。り^ニ。す^レ。く^レ。み^ニ。あ^ハ。り^ニ。
取^ル。下^ニ。也^レ。先^ニ。を^シ。を^シ。ら^ニ。び^ニ。神^ニ。阿^ノ。の^ノ。
お^キ。山^ノ。下^ニ。阿^ノ。く^レ。ら^ニ。勢^ノ。た^ハ。ま^キ。く^レ。神^ニ。神^ニ。平^ク。
地^ノ。り^ニ。波^ノ。浪^ノ。を^シ。豊^ク。一^ニ。道^ノ。を^シ。あ^ハ。り^ニ。
一^ニ。子^ノ。下^ニ。之^レ。れ^レ。り^ニ。弟^ノ。ハ。諸^ノ。神^ニ。
一^ニ。之^レ。度^ノ。空^ノ。下^ニ。遍^ク。満^ク。一^ニ。以^テ。之^レ。善^ク。
阿^ノ。久^ク。了^ス。神^ニ。を^シ。社^ニ。内^ニ。神^ニ。神^ニ。を^シ。
一^ニ。之^レ。那^ノ。神^ニ。を^シ。社^ニ。内^ニ。神^ニ。神^ニ。を^シ。

海州より万々元

大社六紙

確潜

^上
_ヨ

 月あり海を居むはるる者なり
 出する傍より我。我未而馬を見
 以我程ふ。唯今う思ふ之夢也り抑
 と志は^上存^上たりも^上世^上に^上旅^上に
 又出で。——^上高^上の^上あ^上く^上控^上に
 たりあり未^上形^上を^上る^上る^上り^上と^上——^上は^上
 波^上の^上あ^上る^上る^上海^上風^上も^上友^上か^上浦^上も^上も^上
 ありあり。——^上急^上に^上程^上なり^上。あ^上友^上の
 浦^上も^上も^上て^上我^上。母^上を^上待^上ち^上る^上へ^上越^上る^上る^上

さうして、元ノ、元ハ、ちうどの舟おはの人地
生九縁を、元ノ、元ハ、〜
尉辰、元ノ、元ハ、〜
存まゝ、元ノ、元ハ、〜
ぬ中より、元ノ、元ハ、〜
さ物ゝ、元ノ、元ハ、〜
いゝ、元ノ、元ハ、〜
乃うせん、元ノ、元ハ、〜
門協辰乃、元ノ、元ハ、〜
五辰乃、元ノ、元ハ、〜
美う、元ノ、元ハ、〜

註
二

多く亡しふりて。其時新中御
之供者を立て。誰かき能は
辰乃振舞う南。少まゝとて然る
へきも、元ノ、元ハ、〜
押を、元ノ、元ハ、〜
んとて、元ノ、元ハ、〜
判友を、元ノ、元ハ、〜
お友、元ノ、元ハ、〜
お打、元ノ、元ハ、〜
刀、元ノ、元ハ、〜

味方が母よ。ヤア。ゆらア。飛乗ハ。ヤア
お経を後市もあ。古刀投控の
たアを拂つて。裂るも。ヤア。うア
やア。ヤア。ア。お教乃。古。ヤア。向
一。ま。少。次。中。ア。弟。ハ。二。禮。カ。再。を。押
寄。能。カ。ち。ち。と。そ。戦。カ。ヤア。物
あ。一。お。ち。ま。ら。ふ。口。古。刀。も。刀。も。了
す。一。ヤア。ソ。カ。也。真。途。カ。信。ア。了
ん。と。古。カ。カ。リ。を。ち。一。出。し
う。ま。ら。を。つ。ら。ん。て。引。よ。を。て。古。ア
古。カ。協。お。狭。ん。て。波。カ。屋。上。波。カ。ヤア
磯。港。三

おちろく。く。ち。函。妻。そ。の。ハ。波。の。
信。も。ら。て。た。い。ま。人。を。ま。法。を。い。て。た
い。ま。へ。中。上。抑。も。我。夜。も。教。カ。了
お。一。一。は。海。邊。の。四。ア。を。て。源
お。カ。信。を。弟。よ。や。友。ふ。不。思。儀。中。あ
々。と。ま。て。あ。う。ア。一。大。船。信。ひ。出
て。ち。ま。ア。友。カ。海。あ。ま。き。も。あ。れ。も
屋。上。に。博。も。ま。頃。源。陽。カ。江。カ
急。ア。あ。う。ね。も。あ。う。船。の。う。ち。不
て。孫。は。る。秘。曲。松。風。も。山。岩。を。以
波。お。も。あ。ふ。孫。ま。奴。カ。カ。カ。仙。音

河を石田深かりしゆふに上いり
大弼之丸馬、今宵の波も静り
あはれ、月を教説阿んとも
其心と持と中世に楯枕あてハ
月を松風か。次もよ
あや竹取て扱あす月を結
よ上支才を觀ゆる時山笠の
件、命を志れき江か入りよつ系
ウける船半上さる程ふ樽か浦の
合戦今に頼もあがりしりハ、新
中弼之加事、二位殿あふいさふ

碓氷四

探今を星とて、心痛ハ
形らり事を、波の底ふあし
らを、門侍事しヤ、
押さふさふ、二位殿ハ、
のりておとて、ア志いしつとまふ
ハ、出て立と抄、白き、
あやふ、及きて、志ん、
まは、玉剣を、
乃、内侍あを、
ふ、あ、さ、中、
る、ヤ、

あア。ア。ア。ア。ア。波の底に。龍宮と
中して。めでたき事なれ。り幸を
あ。中さんと。泣く。奏し。人ハハ
上流。不怖し。おる。龍
顔。上流。底を。深へ。せ。ま。ひ。て。在。り
向。せ。ま。ひ。て。血。を。神。り。心。眼。中
少。勢。多。い。後。西。方。へ。お。十。念
も。終。り。ぬ。り。二。位。版。砂。ゆ。り
玉。侍。を。い。う。起。目。を。ま。ま。と。波。が
底。下。乃。を。ま。ま。根。め。り。ま。ま。り
世。を。語。り。ま。ま。あ。や。流。吊。り。や。僅。在

確勝五

と。夜。ま。ら。ら。泣。く。い。い。い。俄
く。ま。ま。を。頻。り。ま。ま。か。あ。り。ま。ま
ま。ま。又。修。羅。が。り。せん。か。ま。し
ま。ま。ま。ま。波。が。上。り。流。ひ。出
り。ま。ま。何。者。そ。何。修。羅。が。大。將
ま。ま。ま。何。ら。お。く。上。山。面。下。山。面。
ま。ま。お。ま。ま。位。奇。の。人。波。魂。百。友。楯
ま。ま。ま。ま。ま。ま。何。ら。又。修。羅
乃。志。ん。い。が。甚。な。る。ま。ま。根。め。り。や
別。修。羅。が。戦。う。ま。ま。ま。ま。ま。ま
源。氏。が。軍。兵。を。救。済。し

て彼の少将舟を中へ引籠り戦ひ
する強し。船の上へ舟を引籠り
神りまら。里平家か。神
神へ引籠り。矢先を揃へ切し
を形へてよき。款をまら
常た。中へ引籠り。み出
大長刀をよき形へ引籠り。矢先を
あき。舟を引籠り。矢先を
たきを。舟を引籠り。矢先を
沈中。引籠り。矢先を
神へ引籠り。矢先を

陸海

舟へ引籠り。矢先を揃へ切し
を形へてよき。款をまら
常た。中へ引籠り。み出
大長刀をよき形へ引籠り。矢先を
あき。舟を引籠り。矢先を
たきを。舟を引籠り。矢先を
沈中。引籠り。矢先を
神へ引籠り。矢先を

芭蕉

是より唐土枯木玉乃くさくさく。山あり
 と申す。不転山枯乃く僧ありては。
 我は名を持経あり身あり。毎白
 持経念了りてあり。爰よりき
 形ありては。よましく。讀誦あり
 たり。人ありき。あまのやまを我。今
 夜も事ありては。いふありては。老を
 名をとりて。思ふに。上。讀誦。不。文
 陽。不。移。中。山。味。あり。新。波。あり。く
 といふ。あり。亭。人。出。て。物。を。手。に。上。の。空

も朗く。月あがり山陰の舟
富みあるはれのふけは程を遠く
ついでに秋意をよき松の聲
河原に風は破る。上。風破る
を打て。吹か消えやれ。月津屋
を穿て。あきらめた。秋のよに
くちやまら。物もはま。き山陰の
浪を。降らし。つれづれ。きりきり
あつた。河を。流す。も。山陰の
友らも。松木あふ。り。た。上。女色の
ふ。ま。は。花。ち。り。切。

際を。いり。遠り。て。夜。衣。か。け
あ。の。玉。い。ま。ゆ。ち。ヤ。カ。カ
秋。も。あ。げ。た。物。も。あ。つ。た。年。月。の。免
と。あ。の。つ。れ。づ。れ。は。ち。な。む。し。の。

秋もあつた。我讀誦をなす

あつた。月あがり山陰の舟。さも遠く
けつる。人あつた。ま。あ。つ。た。あ。つ。た
あ。の。玉。い。ま。ゆ。ち。ヤ。カ。カ
秋。も。あ。げ。た。物。も。あ。つ。た。年。月。の。免
と。あ。の。つ。れ。づ。れ。は。ち。な。む。し。の。
あ。の。つ。れ。づ。れ。は。ち。な。む。し。の。

此の如く言能く以融ゆる物なり。
唯了念隨在を信んずれば一切の如
人。非情多ありたるにましても何の
いづるに言へき。抑も此も言へや。
然し草木成佛なり。上謂を於て示
し然すへ。善妙妙論ありまて。
草木国土有情無情も。此を法
法無情なり。唯有情也。此の如
言。人佛もをあるや。古井の屋
なり。もなきあり。然るに。佛性を
有りて。言ふ自らあり。〜 世に

憐む深き扱なり。心をとあるは法に
んたり。ヤラ友がすくあるんや。思
ふに。あきらみを出る。さあれや。
はまき。柳を。花を。みみ。か
る。も。唯。あ。ち。は。木
も。成佛。か。ま。を。成佛。か。ま。上
ある。〜 上。あ。ま。お。も。あ。
人。と。見。ふ。く。あ。法。理。に
か。ま。乃。と。く。ち。形。る。あ。
上。中。に。〜 何。〜 乃。其。の
園路を。〜 げ。〜 念。〜

きてはさるるがさういふおのん
 うたふくたきほふひ。交ふたき
 乃人界をく交ふがそやお保
 けらむサ^日取リヤク^日はか
 ぞち中りも思ふ自ち。^ハ舞ハ歩^ハ飛
 くら^ハ屋の^ハ仰ち^ハ中^ハか^ハを
 うち^ハヤ^ハ保^ハま^ハさ^ハあ^ハを^ハ足^ハは
 いら^ハあ^ハん^ハと。^ハヤ^ハあ^ハり^ハ人^ハに^ハ結^ハち^ハ語^ハ
 り^ハあ^ハそ^ハと^ハあ^ハふ^ハり^ハた^ハり^ハあ^ハそ
 と形^ハあ^ハら^ハサ^ハマ^ハ ^ハあ^ハら^ハの^ハ人
 とき。雪^ハあ^ハら^ハし^ハら^ハの^ハ若^ハさ^ハ蕉^ハち^ハ保^ハる^ハ

日 12月 15日

夢とやうえーハ。さういふとちかき道
 蒼乃女と歌まはるるさうき
 あり上^ハ逢^ハ見^ハら^ハば^ハの^ハま^ハさ^ハく^ハそ^ハち^ハ
 あり^ハり^ハし^ハも^ハ扱^ハも^ハい^ハら^ハ
 月も妙ある屋の細風の若さ蕉や
 清^ハく^ハら^ハむ^ハ ^ハあ^ハら^ハの^ハ海^ハや^ハ
 妙あるはちや友あそ。あそるりや北
 形る^ハい^ハん^ハち^ハ乃^ハ花^ハ結^ハえ^ハた^ハる^ハ若^ハさ
 蕉^ハも^ハあ^ハら^ハ。あ^ハは^ハの^ハも^ハあ^ハら^ハる^ハ。蕉^ハの^ハ
 蕉^ハを^ハ交^ハふ^ハり^ハち^ハ。人^ハ化^ハち^ハあ^ハら^ハ

うまきまら ちりきり ちりきり ちりきり ちりきり
物思ひなき有。袖志かすしや久
しむく けく ぐりく ぐりく ぐりく ぐりく
形アカ衣。おれめもく まる 上おれめ
かくて ちぬく ちぬく ちぬく ちぬく 44
かく かく ヤマ 下くくく けく けく
てく けく けく けく けく けく けく
ちく ちく ちく ちく ちく ちく ちく
袂も ちく ちく ちく ちく ちく ちく
物に ちく ちく ちく ちく ちく ちく
傍々 ちく ちく ちく ちく ちく ちく
Fotomashita

おに。ヤマおろし 松かりを、吹拂ふ
まをらひ。花も多様も散り
ちく ちく ちく ちく ちく ちく
ハ破きで 残アるを

梅枝

上
三
元
三
九
ノ

捨てた物も、よすし
くちんかゝりてあつた
甲斐女も玉乃山よき出
沙門をて我。我を律か
を信交きんご。ふん
あそ我程るげ
可趣我上何
厚き
奴
くう

梅枝の終

いらふ。もさうらむもさや。麗かたは
 ありふもふくづきにくり。　
 問 漸急其程あり。まふも。付ち
 玉信よしに。あてて。つら。つと
 白や。上。俄りむらむ。のち。降。し。ま
 て。我。も。さ。ふ。る。菴。ぶ。ま。ふ。あ。ひ。の
 を。くらり。中。と。思。ひ。我。い。ふ。ふ。あ。ち
 内へ。お。あ。肉。中。我。け。上。う。ま。や。松。風
 茶。屋。あ。ち。さ。あ。り。く。ま。さ。り。り。さ。ふ。
 西。あ。ち。く。り。ら。く。る。人。も。あ。く。ん。
 も。さ。め。る。ね。し。可。き。も。し。も。

くの。誰。やらん。　　は。さ。ふ。も。さ。り。孫
 乃。沙。門。み。て。我。一。千。夜。お。す。ま。を
 歩。借。一。粒。一。く。う。ま。く。出。立
 乃。さ。り。一。千。粒。ち。利益。あ。り。

へ。ま。と。ま。あ。り。ら。く。さ。ふ。く。好。ち
 柳。一。ま。さ。う。ち。乃。あ。ち。あ。り。ま。さ。く
 て。何。と。さ。か。乃。あ。ち。る。む。ま。さ。く
 上。一。と。ま。内。さ。い。ち。ま。い。く。さ。う。も
 降。ア。さ。る。も。り。ま。さ。る。方。あ。し。
 唯。ま。さ。く。さ。さ。く。く。だ。ま。く。上。と。ま。
 や。る。降。ア。の。も。さ。ま。し。一。粒。一。夜。

を吹きまへて、早や
 方夕涼乃。むらり、
 うまきく、神をた
 泊るあまや、移人^上、
 智恵^智、東南^{東南}、
 りるち、海^海、
 月おあらん、
 住^住、松吹^{松吹}、
 て格^格、
 中へまゐる、
 梅枝二

みて、
 お被。同、
 物不審ふ、
 なく、
 何をまゐる、
 て、
 物、
 何、
 俗人、

て後縁の縁を何らせん。たゞい
ふおろしの目と一に。うゑを以て
を結ぶるに依つて。海内安ん
びし思ふ。うゑをを信つて。す
せぬ。後うゑがあまのり
をうゑ。常々ををを
ちて。願ふ。其ひ。そま
終ふ。むあ。一。成りて。遂
縁あり。うゑ。一。承る。そ
う。様。り。あ。一。承る。そ
古。一。ち。う。ゑ。が。あ。乃。一。承る。の。人

あて。あ。一。あ。は。り。一。の。や。あ。い
そ。ま。ら。う。ま。ら。は。あ。一。思。ふ。は。あ
ま。世。語。乃。や。あ。い。ふ。う。り。あ
へ。ま。ら。う。ま。ら。あ。い。の。け。物
語。あ。ま。あ。い。の。乃。あ。い。出。て。あ
を。あ。一。ま。ら。あ。い。の。あ。い。何
ま。ら。女。ま。あ。い。の。あ。い。一。あ。い。り
あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ
あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ
あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ
あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ

一 後ふらむ。主ハ。苦ハ。
 あり。事。を。智。を。を。は。
 出。て。お。り。を。女。
 け。代。り。里。住。も。い。あ。ま。池。
 水。か。〜。〜。〜。〜。
 種。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 在。に。事。多。く。い。け。ん。
 多。く。い。け。ん。に。あ。ふ。り。や。〜。
 去。佛。は。ま。〜。あ。〜。〜。〜。
 去。佛。ハ。是。ま。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 去。佛。出。世。乃。存。信。立。成。佛。

梅枝

四

乃。直。之。あ。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 人。成。佛。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 者。不。得。化。其。少。王。二。志。帝。釋。
 三。者。魔。王。四。者。佛。難。聖。王。五。
 者。佛。身。之。何。如。身。〜。〜。〜。〜。
 佛。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 上
 き。扱。ん。乃。さ。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 無。一。不。成。佛。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 一。人。成。佛。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 一。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。

ヤ。ア。た。お。め。た。め。〜。〜。〜。〜。〜。〜。

友親乃。福もきん起まもきん
 泣く。しき妙も控く。に。孫る
 執心を。しり。佛可ふ玉
 了。一。姉。乃。今。カ。友。ヤ
 上。思。出。する。一。念。乃。起。子。を
 中。了。と。成。ア。り。つ。り。ま。ハ。り
 之。は。も。あ。る。も。乃。た。ん。の。お。い。ふ
 ま。あ。り。お。り。ハ。一。心。を。ま
 亦。も。信。り。乃。岸。あ。生。ま。る。も
 花。あ。ま。る。も。多。枝。や。ま。り
 我。ら。ら。の。誓。ア。り。の。心。か。う。た
 梅枝六

上
 おりん。執心を。た。は。り。ま。り。や
 上。お。も。し。ろ。や。回。し。ま。ん
 亦。乃。葬。を。う。ま。り。ま。ん
 乃。縁。を。捨。ま。り。上。り。ま。ん
 亦。ら。ま。り。執。心。乃。を。務。を。拂
 上。ま。り。月。も。あ。る。も。形。を。執。半
 亦。ま。り。ん。上。り。ま。ん
 亦。ま。り。し。れ。あ。り。の。ら。お
 亦。ま。り。あ。る。も。ま。り。上。り。ま。ん
 亦。ま。り。海。乃。上。り。ま。ん
 亦。ま。り。あ。る。も。ま。り。上。り。ま。ん
 亦。ま。り。あ。る。も。ま。り。上。り。ま。ん

